

「学校給食実施条例」 を賛成少数で否決

第2回定例会を6月2日から6月25日までの24日間の会期で開催し、意見書4件、議員提出議案3件、市長提出議案19件、継続議案1件、陳情4件、農業委員の推薦(3名)について議決しました。(6頁参照)

一般質問は、5日間にわたり、21名の議員が市長等と議論を交わしました。

直接請求「学校給食実施条例」の審議経過と市長見解

直接請求制度に基づく「国分寺市学校給食実施条例」は、6月25日開催の本会議において、賛成少数で否決となりました。

直接請求制度とは、住民の一定数以上の署名があれば、条例の制定改廃などを請求できる制度です。同条例は、平成18年12月26日、請求代表者・森井美智子氏ほか5名から、市長に対して条例の制定請求(署名総数3,392名)が行われ、このことに基づいて、議会に提案されました。主な内容は「学校給食法及び食育基本法に基づき市立小・中学校において学校給食を実施し、児童・生徒の心身の健全な発達を目指す。」というものです。

なお、市長は、議会に提案する際、同条例に対する意見書を添付し、その中で「直営自校方式の中学校給食は、市の方針と相入れない。関係法令に基づいて学校給食は実施されており、あえて条例で定める必要性は認められない。栄養士の免許を持つ教諭を各校に配置するのは困難である。」などの見解を示していました。

意見陳述、参考人招致を実施

同条例は、平成19年1月15日開催の第1回臨時会において市長から提案され、同年1月22日には、2名の請求代表者が本会議において請求内容についての意見陳述を行いました。同条例は、文教委員会(改選前)に付託し、継続して審査を行ってきましたが、委員会の審査に当たっては、請求代表者を参考人として招致し、その意見聴取も行い、審査の参考にしてきました。

また、同条例は、同年4月末の市議会議員の任期満了に伴い廃案となりましたが、議員改選

後の同年6月6日に開催された第2回定例会において市長から再度、提案されました。これに伴い、改めて請求代表者の意見陳述を同年6月11日開催の本会議において行うとともに、引き続き文教委員会で審査を深めてきました。

今定例会中の委員会においては、これまでの審査内容を踏まえ、2名の委員から修正案(直接請求の内容を変えずに条例形式に字句の訂正をしたもの)が提出され、原案と併せて審査を行いました。討論の後、まず、修正案について、続けて原案について採決を行いました。共に可否同数となったため、委員長が裁決を行い、否決となりました。

討論内容と議決結果

今定例会最終日の本会議においても、委員会と同内容の修正案が提出され、原案と一括して審議を行いました。採決に先立ち賛否の意思を表す討論が行われていますので紹介します。

賛成の立場からは、「小学校給食に対する評価は高く、同様に中学校給食も自校直営で行うことが求められている。それも財政状況等、市の条件が整った時点での実施を述べており、理にかなった要望である。栄養教諭は、学校での食学習の要になり、食育を推進する大きな力となる。東京都や国にその配置をアピールすべきである。財政上からも市長・議会の決断で行える問題である。」との意見が示されました。

一方、反対の立場からは、「中学校給食を論じるときは当事者である子供の意見・気持ちが大切である。食を考えると、その多様性を認めることに留意してほしい。特に中学生は、食べる量や体質等個人差がある。中学校給食には様々な課題があるが、同条例という原則直営自校方式が課題解決につながると判断することは難しい。栄養教諭の配置は否定しないが、食へ

の取り組みについては、子供たちが自分たちの課題としてとらえ、その解決方について学べるよう、子供たちの主体性を尊重して取り組んで行ってほしい。」概略、以上のような意見が示されました。

この後、まず、修正案について、続いて原案について採決を行ったところ、両案とも賛成少数で否決となりました。

工事請負契約(恋ヶ窪保育園園舎新築工事契約)を可決

「工事請負契約」は、恋ヶ窪保育園が老朽化により、平成18年度から暫定園舎での保育を行っているため、平成21年3月16日までの工事期間で園舎を新築するというものです。

厚生委員会では「建築面積やプールなど施設規模や設備面における民間保育園との比較について」「建築資材等の高騰による契約金額や今後への影響について」「入札の参加資格要件について」「保育業務民営化に向けての引継ぎについて」など様々な質疑がありました。

また、環境保全や地球温暖化防止の観点から「園舎や園庭に採用されている環境対策について」の多くの質疑とともに「屋上緑化や太陽光利用による発電・温水利用などに対する取り組みが不足しているのではないか」との意見が出されました。

本会議においても、市の環境基本計画や地球温暖化防止計画に対する取り組み姿勢への指摘に対し、市長から「環境保全・地球温暖化防止など環境問題について重要性を強く認識している。今後、庁内の連携を強め、環境面への配慮をしていく」との答弁がありました。

本工事請負契約議案は、本会議において全員賛成で可決しました。